

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	31	施設名称	旧防災消防航空センター
	所在地	上益城郡益城町	施設管理所属	交通政策課
	敷地面積	7,332.58 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	408.8 m <sup>2</sup>	用途地域	-
施設の目的	本県の航空防災に関する業務拠点(廃止)			



(出典: 国土地理院)



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	旧防災消防航空センター事務所	1991	LS	408.8	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 旧防災航空センター事務所

#### ①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	旧防災消防航空センター事務所	1991	LS	408.8	2	0	30

※築年数はR3.3月末時点

#### ②利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	15	16	14	1
適合度②/①	0.20	0.60	0.59	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和33年)
	平成29(2017)年の新事務所建築に伴い、防災航空センター機能移転済。現在は使用しておらず、かつ、建物については老朽化や熊本地震による被害が大きいため、令和4年度に取壊しの予定	

#### ③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費		1.8	1.8								
撤去費			20.4								
合計		1.8	22.2								
累計		1.8	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0

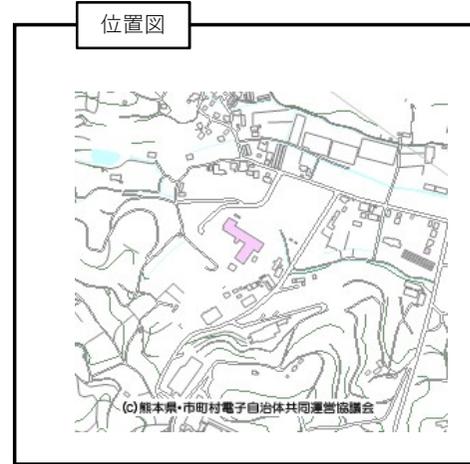
施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	32	施設名称	保健環境科学研究所
	所在地	宇土市栗崎町	施設管理所属	健康福祉政策課
	敷地面積	22,998.7 m <sup>2</sup>	都市計画区域	その他の区域
	延床面積	5,436.1 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的		保健並びに環境分野の中核的試験研究施設		



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1995	RC	5,436.1	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 本館

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1995	RC	5,436.1	3	0	26

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	19	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.76	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年  
※(令和37年)

・長寿命化要件に該当するが、継続利用(90年)への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)

A・B項目から導かれる方向性

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用		867.8									
長寿命化費用											
更新・修繕費		110.2	55.4	605.1	0.7	455.0			35.1	0.7	36.2
維持管理費		24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2	24.2
撤去費											
合計		1,002.1	79.5	629.2	24.8	479.2	24.2	24.2	59.3	24.8	60.4
累計		1,002.1	1,081.6	1,710.9	1,735.7	2,214.9	2,239.0	2,263.2	2,322.5	2,347.3	2,407.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	33	施設名称	総合福祉センター
	所在地	熊本市中央区南千反畑町	施設管理所属	健康福祉政策課
	敷地面積	2,193.0 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	5,790.7 m <sup>2</sup>	用途地域	商業地域
施設の目的	福祉情報の提供、福祉人材の養成・確保並びに社会福祉に関する相談等を行う民間福祉活動の拠点			

## 2. 建物別一覧

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1993	SRC	5,790.7	



(出典：国土地理院)

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 行政棟本館

#### ① 概要

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1993	SRC	5,790.7	5	1	27

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	16	17	16	1
適合度②/①	0.50	0.64	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年  
※(令和65年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

A・B項目から導かれる方向性

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		378.7		497.7					98.4		
維持管理費		25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7	25.7
撤去費											
合計		404.5	25.7	523.4	25.7	25.7	25.7	25.7	124.1	25.7	25.7
累計		404.5	430.2	953.6	979.3	1,005.0	1,030.8	1,056.5	1,180.6	1,206.4	1,232.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	34	施設名称	福祉総合相談所
	所在地	熊本市東区长嶺南2丁目	施設管理所属	健康福祉政策課
	敷地面積	9,506.0 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	4,438.4 m <sup>2</sup>	用途地域	準住居地域
施設の目的	子どもたちや女性、障がいのある方などのご相談に対して、医学的、心理学的な診断などをもとに、総合的な支援サービスを行う			



(出典:国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1989	RC	4,438.4	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 本館

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1989	RC	4,438.4	2	0	32

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	17	18	18	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.67	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年  
※(令和61年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定し、長寿命化改修の実施(築後40年目を基準)を検討する必要がある。

・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修の検討に着手する必要がある。

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										528.2	
更新・修繕費		273.2	0.4	715.7		59.0	0.8	3.1	55.6	14.8	
維持管理費		19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7
撤去費											
合計		292.9	20.2	735.4	19.7	78.8	20.5	22.8	75.3	562.7	19.7
累計		292.9	313.1	1,048.5	1,068.2	1,147.0	1,167.5	1,190.3	1,265.6	1,828.3	1,848.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	35	施設名称	動物愛護センター
	所在地	熊本市東区戸島町	施設管理所属	健康危機管理課
	敷地面積	2,644.0 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	457.9 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的		県内の保健所が引き取った犬や猫の適正な飼育等、動物愛護行政の推進		



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1979	RC	457.9	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 管理棟

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1979	RC	457.9	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方角性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	6	15	13	9	3
適合度②/①	0.60	0.60	0.48	0.32	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年  
※(令和21年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・令和2(2020)年3月に策定した熊本県動物愛護センター基本計画の中で、新たな場所に愛護機能を有する施設整備の必要性及び現動物愛護センターの改修の必要性について検討。新しい動物愛護センター完成後(令和5(2023)年度末に完成予定)、現動物愛護センターを令和6(2024)年度を目安として改修に着手する予定。

※シミュレーションは転用(建替費用も計上)。

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用				274.7							
転用費用		68.7									
長寿命化費用											
更新・修繕費		60.8		23.4		0.5	0.1		5.7	1.1	
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		131.5	2.0	300.1	2.0	2.5	2.2	2.0	7.8	3.1	2.0
累計		131.5	133.6	433.7	435.8	438.2	440.4	442.4	450.2	453.3	455.3

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

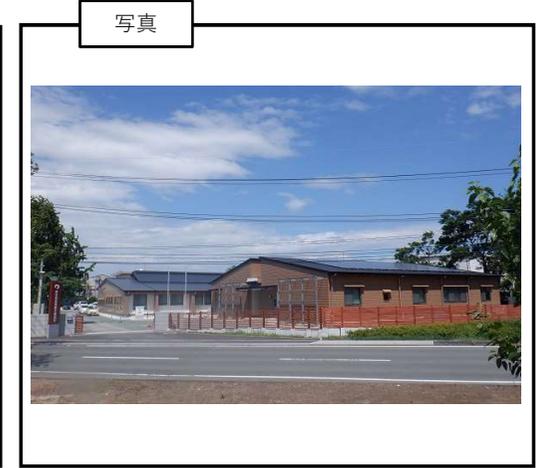
# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	36	施設名称	食肉衛生検査所
	所在地	菊池市七城町	施設管理所属	健康危機管理課
	敷地面積	4,363.1 m <sup>2</sup>	都市計画区域	
	延面積計	1,247.4 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的	と畜場法等の規定により、と畜場等で解体・処理される獣畜等の検査及び監視、指導を実施し、安心・安全な食肉の流通を図る			

## 2. 施設の状況

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務棟	2020	W	701.2	
2	検査棟	2020	RC	546.2	



## 3. 棟ごとの整理

### (1) 事務棟

①概要 面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務棟	2020	W	701.2	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

### ②利活用の方向性

#### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	15	19	17	1
適合度②/①	0.20	0.60	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

#### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年  
※(令和62年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。

A・B項目から導かれる方向性

### ③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費					0.1	4.0		4.9	1.2	0.1	17.1
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		3.1	3.1	3.1	3.2	7.1	3.1	8.1	4.3	3.2	20.2
累計		3.1	6.2	9.3	12.5	19.6	22.7	30.8	35.1	38.3	58.6

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 検査棟

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	検査棟	2020	RC	546.2	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用 (60年)	継続利用 (90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	16	20	17	1
適合度 ②/①	0.20	0.64	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年

※(令和92年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費					0.1	3.1		3.9	1.0	0.1	13.3
維持管理費		2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4
撤去費											
合計		2.4	2.4	2.4	2.5	5.5	2.4	6.3	3.4	2.5	15.8
累計		2.4	4.9	7.3	9.8	15.3	17.7	24.0	27.4	29.8	45.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	37	施設名称	熊本県立清水ヶ丘学園
	所在地	熊本市北区打越町	施設管理所属	子ども家庭福祉課
	敷地面積	26,094.2 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	1,336.5 m <sup>2</sup>	用途地域	第一種中高層住居専用地域
施設の目的	生活指導等を要する児童へ必要な指導を行い、その自立を支援することを目的とする施設			

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1979	SRC	626.0	
3	児童館	1979	SRC	710.5	



(出典: 国土地理院)

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 本館

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1979	SRC	626.0	2	0	42

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	18	19	15	1
適合度②/①	0.50	0.72	0.70	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和51年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・R2年度に策定した「熊本県立清水ヶ丘学園改築整備基本計画」に基づき、R2年度からR5年度にかけて設計、R6年度からR7年度にかけて工事を予定している。

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用					375.6						
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		2.5		14.8		39.2				0.2	41.1
維持管理費		2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
撤去費											
合計		5.3	2.8	17.6	378.4	42.0	2.8	2.8	2.8	3.0	43.8
累計		5.3	8.1	25.7	404.1	446.0	448.8	451.6	454.4	457.3	501.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)児童館

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	児童館	1979	SRC	710.5	2	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	6	15	16	16	1
適合度②/①	0.60	0.60	0.59	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年

※(令和51年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・R2年度に策定した「熊本県立清水が丘学園改築整備基本計画」に基づき、R2年度からR4年度にかけて設計、R5年度に工事を予定している。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用					426.3						
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		2.8		13.6		32.4				0.6	42.3
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		6.0	3.2	16.7	429.5	35.6	3.2	3.2	3.2	3.8	45.5
累計		6.0	9.1	25.9	455.3	490.9	494.1	497.2	500.4	504.2	549.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	38	施設名称	精神保健福祉センター
	所在地	熊本市東区月出3丁目	施設管理所属	障がい者支援課
	敷地面積	4,440.4 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	1,737.3 m <sup>2</sup>	用途地域	準住居地域
施設の目的	こころの悩みや不安に関する相談、関係者の技術支援や研修を行う場			



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1980	RC	1,436.1	
2	旧器楽練習棟	1980	RC	301.2	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 本館

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1980	RC	1,436.1	2	0	41

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	17	21	18	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年  
※(令和52年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修の検討に着手する必要がある。

A・B項目から導かれる方向性

#### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		170.9									
更新・修繕費		119.4		35.2		45.3			19.5	2.3	4.9
維持管理費		6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
撤去費											
合計		296.7	6.4	41.6	6.4	51.7	6.4	6.4	25.9	8.7	11.3
累計		296.7	303.0	344.7	351.0	402.7	409.1	415.5	441.4	450.1	461.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)旧器楽練習棟

①概要

面積:m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	旧器楽練習棟	1980	RC	301.2	1	0	41

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	19	17	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和22年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・倉庫の用途に変更している。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		29.6		3.3		1.0			4.1	0.3	1.0
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		30.9	1.3	4.7	1.3	2.4	1.3	1.3	5.4	1.6	2.4
累計		30.9	32.3	36.9	38.3	40.6	42.0	43.3	48.7	50.4	52.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	39	施設名称	身体障害児者総合福祉センター
	所在地	熊本市東区長嶺南2丁目	施設管理所属	障がい者支援課
	敷地面積	14,491.0 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	3,997.7 m <sup>2</sup>	用途地域	準住居地域
施設の目的				



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	第1本館	1975	RC	3,017.4	
2	体育館	1975	RC	980.3	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 第1本館

#### ①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	第1本館	1975	RC	3,017.4	2	0	45

※築年数はR3.3月末時点

#### ②利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	18	13	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和17年)
	・長寿命化要件に該当するが、継続利用(90年)への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適正である。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や駐車場に課題)	

### ③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		59.5	146.6	107.4					12.8	38.5	3.0
維持管理費		13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
撤去費											
合計		72.9	160.0	120.8	13.4	13.4	13.4	13.4	26.2	51.9	16.4
累計		72.9	232.9	353.7	367.1	380.5	393.9	407.3	433.5	485.4	501.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 体育館

① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	体育館	1975	RC	980.3	1	0	45

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	6	16	18	15	1
適合度②/①	0.60	0.64	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年

※(令和47年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		116.7									
更新・修繕費		117.1				97.2	0.2		9.4		57.3
維持管理費		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
撤去費											
合計		238.2	4.4	4.4	4.4	101.6	4.6	4.4	13.8	4.4	61.6
累計		238.2	242.5	246.9	251.2	352.8	357.3	361.7	375.5	379.8	441.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	40	施設名称	こども総合療育センター
	所在地	宇城市松橋町豊福	施設管理所属	障がい者支援課
	敷地面積	53,560.4 m <sup>2</sup>	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	8,002.2 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的	障がい及び障がいの疑いのある子どもの早期発見、早期治療を目指して、総合診断や療育の方向付けを行う			



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	訓練棟	2004	RC	1,836.7	
2	生活・医療棟	2004	W	1,591.2	
3	母子棟	2004	RC	338.5	
4	厨房棟	2004	RC	393.6	
5	外来棟	2005	RC	2,869.4	
6	通園棟	2004	W	972.8	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 訓練棟

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	訓練棟	2004	RC	1,836.7	2	0	16

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	19	18	16	3
適合度②/①	0.30	0.76	0.67	0.57	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和76年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度やアクセスに課題)	

#### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				197.8	8.0	103.1			1.6	6.2	23.4
維持管理費		8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
撤去費											
合計		8.2	8.2	205.9	16.2	111.3	8.2	8.2	9.7	14.4	31.6
累計		8.2	16.3	222.2	238.4	349.7	357.9	366.0	375.8	390.1	421.7

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)生活・医療棟

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	生活・医療棟	2004	W	1,591.2	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	16	15	3
適合度②/①	0.30	0.68	0.59	0.54	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年  
※(令和46年)

A・B項目から導かれる方向性

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

(3)母子棟

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	母子棟	2004	RC	338.5	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	20	16	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年  
※(令和46年)

A・B項目から導かれる方向性

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				75.4	84.3	89.3			1.4	5.4	
維持管理費		7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
撤去費											
合計		7.1	7.1	82.5	91.3	96.4	7.1	7.1	8.4	12.5	7.1
累計		7.1	14.1	96.6	188.0	284.4	291.4	298.5	306.9	319.4	326.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				16.0	17.9	19.0			0.3	1.1	
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		1.5	1.5	17.5	19.4	20.5	1.5	1.5	1.8	2.7	1.5
累計		1.5	3.0	20.6	40.0	60.5	62.0	63.5	65.3	67.9	69.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4) 厨房棟

① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	厨房棟	2004	RC	393.6	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.72	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年  
※(令和46年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率やアクセスに課題)

(5) 外来棟

① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	外来棟	2005	RC	2,869.4	2	0	15

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	19	18	16	3
適合度②/①	0.30	0.76	0.67	0.57	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和77年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率やアクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			6.0	12.7	20.8	22.1			0.3	1.3	
維持管理費		1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
撤去費											
合計		1.7	7.7	14.5	22.6	23.8	1.7	1.7	2.1	3.1	1.7
累計		1.7	9.4	23.9	46.5	70.3	72.1	73.8	75.9	79.0	80.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				308.9		173.7			2.4		46.3
維持管理費		12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7
撤去費											
合計		12.7	12.7	321.7	12.7	186.4	12.7	12.7	15.2	12.7	59.1
累計		12.7	25.5	347.2	359.9	546.3	559.1	571.8	587.0	599.8	658.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)通園棟

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	通園棟	2004	W	972.8	1	0	16

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	17	15	3
適合度②/①	0.30	0.72	0.63	0.54	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年  
※(令和46年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度やアクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				46.1	51.5	54.6			0.8	3.3	
維持管理費		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
撤去費											
合計		4.3	4.3	50.4	55.8	58.9	4.3	4.3	5.1	7.6	4.3
累計		4.3	8.6	59.1	114.9	173.9	178.2	182.5	187.6	195.3	199.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。